

【専門基礎分野】

科目名	臨床判断Ⅱ (変化への気づきと判断：消化器疾患)	講師名	専任教員	学 年	1	履 修 期	第2学期	
単 位	1 単位							
時間数	1 5 時間							
講師実務経験	看護師としての臨床経験あり。							
授業概要	肝硬変患者の事例を用いて、状態の変化に気づき、何が起きているのかを考えられるよう、協同学習（TBL）を通して看護を導く臨床判断の基礎的能力を養う。							
授業科目目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消化器の正常な構造と機能から肝硬変の病態へ変化する病因と症状出現のメカニズムが理解できる。</li> <li>2. 肝硬変の病態と症状と検査の関連、肝硬変の病期と症状と治療の関連について理解できる。</li> <li>3. 臨床判断のプロセスを学ぶことによって、どのように反応し、行動していくのか考えることができる。</li> </ol>							
授業内容	<p>1回：1. 肝臓の正常な構造と機能</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 肝臓の構造と機能</li> <li>(1) 肝臓の構造</li> <li>(2) 肝臓の代謝機能</li> </ol> <p>2～6回：2. 肝硬変の病態の理解（肝硬変患者事例を用いる）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病因が正常な機能に及ぼす影響</li> <li>2) 病態と検査との関係</li> <li>(1) 血液検査</li> <li>(2) 画像検査</li> <li>3) 肝硬変の症状</li> </ol> <p>3. 体の変化に合わせて考える（代償期）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 代償期の症状と治療の関係</li> </ol> <p>4. 体の変化に合わせて考える（非代償期）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 非代償期の症状と治療の関係</li> </ol> <p>5. 体の変化に合わせて考える（肝不全）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 肝不全の症状と治療の関係</li> </ol> <p>7回：体に起こっていることと理解と判断</p> <p>8回：終了試験</p>					講義 TBL学習	講義 TBL学習	発表
評価方法	ポストテスト（40%）、発表点（10%）、課題（50%）							
テキスト	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学, 医学書院.</li> <li>2. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [5] 消化器, 医学書院.</li> <li>3. 系統看護学講座 別巻 臨床検査, 医学書院.</li> <li>4. 系統看護学講座 専門基礎 疾病の成り立ちと促進 [2] 薬理学, 医学書院.</li> <li>5. 系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能 [3] 栄養学, 医学書院.</li> <li>6. 系統看護学講座 別巻 栄養食事療法, 医学書院.</li> </ol>							
参考書	病気がみえる（消化器）							
学生へのメッセージ	<p>「なんでだろう」という気づきを大切にして、看護実践して行く上での判断について学んで下さい。</p> <p>【関連科目】解剖生理学Ⅰ、病理学Ⅰ、薬理学、臨床治療論、栄養学</p>							